

編輯後記

經濟學會も茲に十年の歳月を経て、本會誌記念特別號を發刊する慶事を迎へるに至つたことを會員諸君と共に心より慶賀します。學會十周年に當つて鄭重過分な祝辭を早速本會誌に贈り下さつた田邊教授、山下教授をはじめ經人會に厚く感謝します。

常々本學會のために御指導の勞を竭し下さる河西教授より卷頭言を御多忙中態々寄せ下されたことに深く感謝しますと共に、そのうちに明示せられた次の十年への學生の責務は深く銘記します。

本學會が歩み來つた十年の歳月のうちに何が築き上げられたかは具體的に諸井、田邊二先輩により主として執筆せられた「經濟學會十年史」によつて知り得ると共に、更に一般との聯關のもとに諸井先輩の勞作「立教學生文化運動小史」を熟讀するときに、われわれに學會建設の十年が、いかに昂揚と苦闘に満ちた歲月であつたかを深く省察させねばをかないであらう。われわれの省察は單に省察であつてはならない。それはわれ何を爲すべきかを促進して止まない省察でなくてはならない。父なる歴史の血をうけ、母なる社會のうちに育つた二十の若き世代の嫡出子としてのわれわれならば、この省察こそはわれわれの成長を必ずや正しき方向に追進せしめるであらう。

本會誌は十年記念號としては微々たる編輯

にすぎないが、委員の望むところは二十の若き世代の嫡出子として最も血のつながり濃き學生諸君と共に築き上げられた十年の傳統と「十年回想」に見る建設の明暗のうちよりわれわれの血の正しさに誇りと使命を自覺し、次のわれらの十年を建設すべく兄弟としての協力を惜まれんことである。學會が現在あるよき地盤の上にわれわれによる次の建設が始まる。われわれ學生の、われわれ兄弟のものである經濟學會の建設に献身的な協力を切に望むでやまない。

事變下第三年、學生の間に最も論議の中心となつた經濟現象である物價及びインフレーションの問題が夫々全機構との關聯をもつて大川、北越(三年)及び長岡(二年)の諸君により論究せられた、これらに共に學生諸君の熟讀すべき力作である。一年の俊秀野澤君の實證的研究は、今夏勤勞報國隊に参加し得られた貴重な論作で今後の君のすぐれた研究に大きな期待を持つと同時に、勤勞報國隊参加者により益々かような大陸研究の論文現はれる事を希望する。又J.S.ミルに關する論文は一年の若き學徒高君から獲た喜びと期待するところは非常なものである。惜まれつつ天折せられた學究の徒三條君を追悼する念は等しく誰もの心にあるであらう。ここに學會の會員宇野澤君と委員北越君の親友の追慕を收め誌發行と共に厚く弔意を表したい。終りに會誌發行の遅延については、編輯者の深く御詫する次第である。(李馬丁生)

昭和十五年一月三十日印刷納本
昭和十五年二月二日發行

第十八號(頒價四十錢)

編輯兼 中 島 一 男
發行人

印刷人 長 宗 泰 造
東京市小石川區高田豊川町三七

印刷所 厚 德 社 印刷所
東京市小石川區高田豊川町三七

發行所 立教大學經濟學會
東京市豊島區池袋立教大學内